



「地味」が海老名の「地味」

もくじ			
えび人 vol.101	2	文化会館	10
今号の表紙	3	相談	11
市長タウンミーティング		図書館	12
実施報告	4	子育て・HUGHUG赤ちゃん	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日時・日にち 期間 時間 場所 対象 定員
 内容 講師 費用 持ち物 その他 任期
 条件 主催 Eメール ホームページ 問い合わせ
 申し込み 予約制 祝日・振替休日を除く 休み
 高齢者対象の教室など えびな健康マイレージ対象
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492海老名市役所〇〇〇課行」が届きます
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」



今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな



きれいに書くために何回も練習しました。有鹿小学校 中尾咲有紀さん(10歳)

写真

タイトル：豊作への祈り
 撮影場所：大谷付近
 撮影者：大谷北在住 衛藤昭博さん



(写真上)「生きてるうち、動けるうち、やりたいことはやりたい」がモットー
 (写真中)力を合わせて共に支援を行う民生委員の仲間たち
 (写真下)広大な土地に心が洗われる。「北海道が大好き」

うのが基本かなって。それが自然にできればいいかな。「訪問先の娘さんから、見守り活動についてお礼の電話をいただいた時は、やっていてよかった」と、ありがたいという言葉が活動の励みになると言います。
 「もっと若い世代にも、民生委員をやってもらえたらいいな」。活動の広がりを目指して、金子さんの奔走は続きます。

人のつながりと大地の力をエンジンに

颯爽とトラクターを乗りこなす金子さん。「元気の源はやっぱり農業。大地のパワーはすごいですよ」と笑顔で話します。幼い頃から人との関わりを大切に育ちました。「本当に人に恵まれています。困難な状況になっても、助けてくれる人がいる。相手が持っているものを吸収させてもらっちゃおう」
 民生委員の活動では相手の声に寄り添った支援を心がけています。「気付いて、つないで、見守っていく」とい

今月のえび人

金子幸枝さん
 (社家住・63歳)

海老名市南部地区民生委員児童委員協議会会長。えびな南部地区社会福祉協議会副会長。PTA役員にはじまり、長年ボランティア活動に従事。先代から引き継いだ田んぼで作るコシヒカリが自慢。

編集雑記

今年度、自治会に加入して初めて会費を集めたり、回覧物を回したりといったことに関わり始めました。誰かがやってくれていたと思うと、助け合いの大切さと、微力ではありますが地域に貢献し関わりが少し深まったかなと感じています。お祭りなどのイベントも子どもたちは楽しみにしているので、この助け合いをつなげたいと思います。(そ)